

JOYO BANK NEWS LETTER

2023年4月27日

常陽グリーンエネルギー株式会社における 八千代町への PPA による電力供給開始について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽グリーンエネルギー株式会社（代表取締役社長 池田 重人 以下、「当社」）は、八千代町（町長 野村 勇）と株式会社 afterFIT（代表取締役 谷本 貫造）の三社協業により、八千代町役場の職員用駐車場にソーラーカーポートを設置し、PPA*¹による電力供給を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、今後もお客さまの SDGs への取り組みや脱炭素経営に向けた取り組みへの課題解決支援を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*1 PPA：太陽光発電事業者が太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギー由来の電気を購入したい需要家と電力購入契約（Power Purchase Agreement）を締結して当該太陽光発電設備で発電した電気を供給すること。

記

1. 概要

当社は、PPA 事業者として、八千代町役場の職員用駐車場 746.16 m²の敷地に、240 枚の太陽光パネルを搭載したソーラーカーポート 48 台分（以下、「当該設備」）を設置し、発電した再生可能エネルギー電力を庁舎に供給いたします。当社が設置した当該設備の想定発電量*²は 145,266kWh/年で、これによる庁舎内のエネルギー自給率*³は 24.6%となる見通しです。当該設備の施工とメンテナンスは、株式会社 afterFIT が担います。

*2 想定発電量：「JISC8907」に基づく太陽電池の発電量計算方法を用いて算出。

*3 エネルギー自給率：年間需要に対して太陽光発電で賄った電力の割合。

2. 取り組みの背景

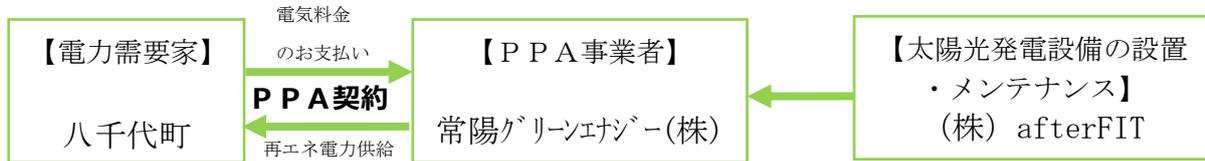
八千代町は、2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現を宣言し、豊かな自然環境と町民の快適で安心した生活を次世代に引き継ぐため、積極的に地域の脱炭素化を推進しています。その具体的な施策として、常陽銀行および当社と「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携に関する協定書」を締結するとともに、庁舎で使用する電力の一部を再生可能エネルギーにより賄うために、当社、八千代町、株式会社 afterFIT の 3 社が連携した PPA 事業の取り組みを開始することとなりました。

3. 取り組みにおける八千代町の期待効果

- ・当社の PPA 契約に基づいた再生可能エネルギー電力をご利用いただくことで、年間 58.4t の CO₂ 排出量の削減が見込まれます。
- ・PPA 契約に基づきご負担いただく電気料金は、契約期間中、原則固定のため、電気料金高騰時の影響を低減することが期待されます。

【ご参考】

■ 本取り組みのスキーム



■ 太陽光パネル搭載のソーラーカーポート（八千代町役場の職員用駐車場内）



■ 八千代町の概要

自治体名	八千代町
町長	野村 勇
所在地	茨城県結城郡八千代町菅谷1170
人口	約21千人（2023年3月1日現在）
概要	豊かな自然環境と町民の快適で安心した生活を次世代に引き継ぐため、地域の脱炭素化に取り組んでいます。衣食住、移動、買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットをまとめた30の取り組み「ゼロカーボンアクション30」では、家庭でできる脱炭素行動について紹介するなど、地域全体でCO2削減に取り組んでいます。
URL	https://www.town.ibaraki-yachiyo.lg.jp/

■ 株式会社 afterFIT の概要

名称	株式会社afterFIT
設立日	2016年10月
代表者	代表取締役 谷本 貫造
所在地	東京都芝大門2-4-6
資本金	7億7400万円
事業内容	クリーン電力事業
企業概要	当社は、発電・送電・売電の電力3事業を展開するグリーン電力会社です。自社で開発から保守管理まですべてを一気通貫で行える強みを生かし、発電事業領域で成長してきました。その実績とノウハウで系統用蓄電池開発や電力の市場運用なども行っています。その他、AIを活用した発電適地探しや大規模蓄電池をアルゴリズムで制御するシステム開発など、グリーン電力の課題解決に注力しています。
URL	https://afterfit.co.jp/

以上